

平成 29 年度

第 2 回 宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録

日時：平成 30 年 3 月 28 日（水）14：00～

場所：宇城市役所 2 階 庁議室

1 開会

まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017 改訂版）及び宇城市における取組

2 議事

- （１）総合戦略事業 実績報告について（事前送付資料）
- （２）地方創生推進交付金事業 実績報告について（事前送付資料）
- （３）質疑応答
- （４）その他

3 閉会

【配布資料】

- ・平成 29 年度第 2 回宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議 次第
- ・平成 29 年度総合戦略実績報告一覧、報告書個票・・・事前送付
- ・平成 29 年度 地方創生推進交付金実績報告書（事業一覧）
- ・宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）

1 開会

委員欠席：永井委員、高島委員、那須委員、米納委員、瀨崎委員

代理出席：熊本宇城農業協同組合：橋本 氏

(事務局 村上)

・ 現在の国の動向及び本市の取組み概要について

別紙「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017 改訂版）及び宇城市における取組（PDF）」から説明。

2 議事

(会長)

それでは、議事に入る。まず平成 29 年度総合戦略実績報告について、事務局からの説明をお願いする。

事前配布資料の平成 29 年度総合戦略実績報告一覧（21 事業）について、事務局より事業概要、実績、次年度の展開について説明

(事務局)

前回の有識者会議において、『事業を整理し、解りやすい実施計画を望む』との意見があり、今回、事業の統合を行った。事業は以下のとおり。

商工振興課（10 事業）→（5 事業）

- ・ 1-ア-① 「宇城市産業振興諮問会議(産業振興プラットフォーム(PF))」の創設
- ・ 1-ア-② 「ブランド売り込み」プロジェクトの創設
- ・ 1-ウ-① 創業・企業誘致事業と事業承継など地域資源活用プラン作成事業
- ・ 2-エ-① 「産官学金言労」の連携推進事業
- ・ 3-ウ-③ 公共交通・買物支援等の社会システムの抜本的対策の推進

農政課（6 事業）→（4 事業）

- ・ 1-イ-① 「優秀な就農希望者を集めましょう」プロジェクトの創設
- ・ 1-イ-② 先進農家の法人化と集落営農の推進
- ・ 1-イ-③ 金融機関等と連携した販路（新規市場）拡大・6 次産業化支援
- ・ 1-イ-④ 優良農地の確保に向けた取組

まちづくり観光課（9 事業）→（6 事業）

- ・ 2-ア-① 宇城市版 DMO の推進

- ・2-イ-① 空家ドナー制度
- ・2-ウ-① 市外在住者連携強化推進事業
- ・2-エ-② 地域活動への高校生の参加促進事業
- ・3-ウ-① 地域ごとの未来像の設定及び担い手育成事業
- ・3-ウ-③ 事業継続性の向上

教育総務課（2事業）→（2事業）

- ・2-ウ-② 学生連携強化推進事業
- ・3-イ-① 定住促進策としての子育てPR推進

都市整備課（3事業）→（2事業）

- ・3-ア-① 宅地開発に伴う金融機関・住宅メーカー等との連携及び整備推進
- ・3-ア-② 空家・空地等所有者への資産活用勉強会等の開催

こども福祉課（2事業）→（2事業）

- ・3-イ-① 定住促進策としての子育てPR推進
- ・3-イ-② 住宅メーカー・金融機関・産婦人科等との連携強化

企画課（1事業）→（1事業）

- ・3-ウ-② 公共交通・買物支援等の社会システムの抜本的対策の推進

高齢介護課（2事業）→（1事業）

- ・3-ウ-④ アクティブシニアの能力活用推進

事前配布資料の地方創生推進交付金・拠点整備交付金事業(4事業)について、担当課より事業概要、実績、次年度の展開について説明

商工振興課（1事業）

- ・雇用創出に向けた域内経済循環促進事業

まちづくり観光課（3事業）

- ・DMOと地域商社による雇用創出実現事業
- ・集落人口ビジョン・集落版総合戦略の策定による地域づくりのPDCA確立事業
- ・コミュニティビジネス創出拠点整備事業

(会長)

ここで、委員の皆様からの意見を伺いたい。

(委員)

誘客キャンペーン『三角サンカクドライブ』に市職員の参加を促し、職務の一環として積極的な発信をお願いする。

また、新聞やテレビ等のメディア関係への露出はあるのか。

(まちづくり観光課)

職員にも周知を行うとともに、外部への情報発信も協力を仰ぐ。

メディア関係の露出としては、K A Bの情報番組で取り上げていただいた。

(委員)

例えば、市の若手職員がキャンペーンに参加し、そのことをSNS等で発信することで、反響がどれだけあるのかを測定できるのでは。

(まちづくり観光課)

特設のフェイスブックを作成し、キャンペーン協力店が管理者となり更新を行っている。また、同様にInstagramでも取組みをはじめ、両サイトでの反響を測定する。

(委員)

実施報告書の中で、K P I 数値が『不明』や『調整中』の事業が見受けられる。適切なK P I の設定をお願いする。

(事務局)

進捗管理ができるK P I に変更し、次回会議時に総合戦略改訂（案）として提示を行わせていただく。

(会長)

35 事業を 21 事業に集約したことにより、解りやすくなった。K P I については、進捗管理ができる適切な数値目標に変更して構わないと考える。

(委員)

宇城市は人口が年々減少しており、定住促進策を拡充させる必要があるのではないかと考える。また、5年後10年後を見据えた街づくりが必要と考える。

(事務局)

定住促進策の一環として、松橋駅周辺整備・小川駅周辺整備計画を進めている。将来、住宅地となり定住人口増加を目指している。

また、ご指摘のとおり宇城市全体のまちづくりの基本構想が『目に見える形』でお示しできていない。次年度、新たな地方創生事業の取組みとして、宇城市各地域の主要施策（ハード事業）完成後の絵姿（グランドデザイン）を作成する。

(委員)

農作物について、宇城市を連想させるようなブランド品がないと感じる。ブランド化に向けた取組みを強化してもらいたい。

(農政課)

J A宇城や優秀な営農指導員と連携を取り、国や県の支援メニューを活用することにより、ブランド化を進めていく。

(会長)

宇城市は合併後10年弱経つが、街づくりの話題となると旧町単位の意見要望になる。宇城市の地域特性に応じたゾーニングイメージを市民が共有することで、今後の街づくりに繋がると考える。

最後にその他について、事務局からお願いします。

(事務局)

今回の会議は5月下旬を予定している。詳細は追って連絡する。

以上を持って、平成29年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了する。